

今号から子供達が登下校する危険な交差点や危険箇所の特徴と注意点についてご紹介していきたいと思いません。第一回目は中岡交差点です。

毎朝保護者の方々が子供達の登校を誘導、見守りしている中岡交差点、全校の半数にあたる五百数十人の生徒が藤が谷、松が岡方面から通って来ます。また、隣接する湘南学園や鵜沼幼稚園等の生徒、園児や通勤者も多く、交差するバス通りは藤沢と鵜沼海岸を繋ぐ主要な生活道路となっており、多くの車が行き交います。登校は午前7時半過ぎから8時半までの約1時間、ピークは8時前後となります。また、下校は通常早い場合で13時過ぎ、クラブ活動や委員会のある金曜日は遅い子供で16時近くになります。また、一斉下校の場合は朝と同様約1時間の間に集中します。登校時は子供達も緊張感があり、比較的整列して歩いて来るのですが、下校時は勉強が終わった解放感からか、路側帯(白線)からはみ出し広がって歩く傾向があり、時折車にクラクションを鳴らされたり、接触しそうな事もあります。加えて一度帰宅した子供が学校や児童館等に遊びにくるので、下校時の中岡交差点は歩行者、ドライバー共に要注意です。



中岡交差点と信号機の特徴

鵜沼内でも数少ない信号機が設置されている交通量の多い交差点です。バス通りはこの交差点を境にくの字となっており見通しが悪く、交差する通学路も鵜沼側の道路の幅員(道路幅)が狭く、たとえ子供が一列に路側帯内を整列して歩いても車のすれ違いは困難で、登校時の午前7時から9時は中岡交差点から反対側の青木文房具店跡(現在は空き地)までの間は歩行者専用道路(自転車と警察から許可を受けた車を除く)となっています。月曜から金曜日までの通学時間帯は黄色い立て看板を出していますが、規制時間中に看板が無い場合、知って知らずか何台もの車やバイクが通り抜けて行きます。また、信号機は深夜、早朝、登校時、日中、下校時、夜と時間帯により、青信号、赤信号の時間が異なります。例を挙げると登校時の7時～9時は歩行者用信号機は23秒(点滅も含め)、その上の車両用信号機はプラス11秒で赤信号に変わります。対してバス通り側は45秒で赤に変わります。歩行者用信号機の点滅は黄色にあたるので、実質渡る事ができる時間は約20秒位となります。登校時は渡った先が歩行者専用道路となるので、横断に関しては若干のゆとりがありますが、下校時は学校側も車が行き来するので、子供は路側内を歩く事が求められます。その後、朝9時以降は往来する人や車が減るので22秒(歩行者16秒)対42秒となり、下校時の13時～16時は25秒(歩行者19秒)対40秒と通行量に応じてタイマーで切替られています。



付け加えて、本鵜沼駅から上岡の点滅信号機までの間が、上岡側から駅に向かって16時～18時は車輛進入禁止となるため、同時時間帯に中岡交差点から桜が岡郵便局側に通り抜ける車が多くなり、裏門と鵜沼児童館から出てくる子供と車や自転車が接触しそうな事があります。

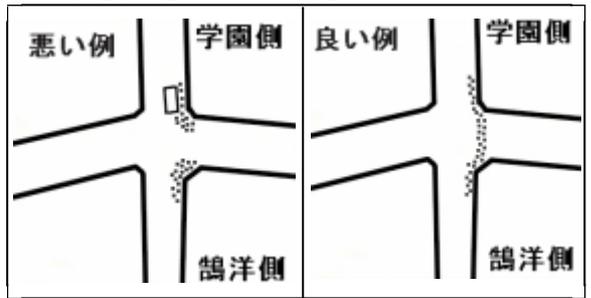
子供達が注意する事

・横断歩道内を歩きましょう、

うしろを気にしないで車道側にはみ出て、後から来た車にはねられそうになる子供がいます。中には斜めに横断する子供もいます。渋谷や原宿のスクランブル交差点ではありません。後方に注意して横断歩道を渡りましょう。

・登下校時はできるだけ一列か二列に整列し、路側帯内を歩く、特に雨の日は一列で、

整列して歩く事で交差点内での混乱がなく、車のすれ違いもしやすいので、広がって我先に渡るより一度に多くの生徒が安全に渡れます。渡る先に左折しようとする車が止まっていて歩行者が歩くスペースが狭くなっている場合に、大勢で渡ったとしたら青信号中に渡りきれない生徒がでるばかりか、左折したい車も曲がりきれず、信号が変わってもバス通り側の車も動くことができず、大混乱となります。道路はみんなが通るという事を念頭に置き譲り合いとゆとりを持って歩きましょう。また雨の日、低学年は傘よりカッパがお勧めです。傘は視界を狭くし、うしろから来る車の音も遮断します。傘を振り回したり、おちょこにしたりして遊ばないように！



・赤信号を待つ時はバス通りや車道に出ない事、

信号を待っている間、早く渡りたい気持ちからか、バス通り側にはみ出している子供がいます。子供を避けようとする車は道路のセンター側を走る事となり、くの字で見通しの悪い交差点内で対向車と正面衝突したら大変です。場合によっては避けようとした車が子供達の列に突っ込んでくる恐れもあります。また交差点の角に子供が固まると右左折する車が曲がれないばかりか、内輪差で足を轢かれたり、引っかけられる場合もあります。無理に前に詰めようとせず安全な場所で信号を待ちましょう。

ふざけあって車道側に押ししたり、追い駆けっこをして赤信号なのに飛び出してしまう

子供も見掛けます。また、石蹴りをしている子供もいます。大変危険な行為です。絶対にやめましょう！



・信号を渡ったら立ち止まらない事、

信号を渡りきった角でお友だちを待ったり、立ち話をしている子供がいます。後から来る人の事を考えて下さい。エスカレーターを降りたところで立ち止まっているのと同じです。どうなりますか？

また、渡りきってから整列して路側帯内を歩きましょう！

・信号機を過信しない事、

中岡交差点で交通誘導をしていると、携帯電話を片手に運転するドライバーや、信号のかわり際に猛スピードで走り抜けていく車、故意に信号無視してくる車を時折見掛けます。自らの目で左右を確認し横断して下さい。また、歩行者用の信号が点滅しだしたら無理に横断しないようにしましょう。状況次第では戻る事も大事です。

・自転車に乗ったら車と同じルール、

自転車は道交法上、軽車両にあたり、自動車と同じ交通ルールに従う事はご存知だと思います。原則的に左側通行を心がけましょう。高速道路で車が逆走したらどうなりますか？、生活道路も同じですよ。また信号待ちの時は左側に縦一列になって待ちましょう。

大人が注意する事

・交通マナーは家庭での教育が最も大事です。大人が良いお手本となって下さい。

・車で中岡交差点から裏門前を通る場合、下校のピーク時はできるだけ迂回するようご配慮をお願い致します。

中岡交差点信号機時間延長に対する取り組み(ハード面よりソフト面の改善が第一)

ご存知の通り、毎週水曜日、始業式や終業式、運動会などは全学年一斉下校となります。警察の方も何度か視察に来られましたが、道路幅が狭い環境下での一斉下校は、信号機の制御のみによる安全な往来は無理だそうです。この夏から要望していた歩行者用信号機の青の時間が、試験的に下校時(13:00~16:00)4秒延長されました。以前に比べるとわずかですがより多くの子供がゆとりを持って渡れるようになった感じです。特にお巡りさんが視察に来られた日は、子供達が比較的マナー良く整然と歩いた事によって、スムーズ且つ安全に渡る事ができました。信号機は規則正しく動くハードです。それを利用する人、即ちソフト側が正しく安全に利用すれば何の問題も起きないと言っても過言ではありません。幸い中岡交差点では過去数年間、救急車が出動するような人身事故は発生していません。これからも他の交差点を含め事故が起きないように願うばかりです。